

FDSKey レビュー

外観

FDSKey 本体です。

上面に OLED のディスプレイと、十字ボタン

側面にマイクロ SD のスロットがあります。



接続

今回はディスクからの吸い出し、書き込みも試したかったので以下の構成を用意しました。

- ・ FDSKey 本体
- ・ FC-RGB (ファミコンの互換機) ※以降便宜上ファミコンと表記します。
- ・ RAM アダプタ
- ・ ディスクシステム
- ・ マイクロ SD カード (4GB)



まずはファームウェアの更新を試みる

2023 年 10 月時点で、ver.1.3 のファームウェアが出ていましたのでまずはファームウェアのアップデートを試してみます。

マイクロ SD カードを PC に接続して FAT32 形式でフォーマットします。

以下の公式のリリースページより「FDSKey.bin」をダウンロードして、マイクロ SD カードのルートにコピーします。

<https://github.com/ClusterM/fdskey/releases>

マイクロ SD カードを PC から取り外し、FDSKey にセットします。

FDSKey と RAM アダプタを接続し、RAM アダプタを ファミコン に接続します。

FDSKey の 4 つの十字ボタンを全て押しながら、ファミコンの電源を入れます。



「Updating」と表示されファームウェアのアップデートが行われます。



終了すると、ファームウェアファイルをマイクロ SD カードから削除するか、残すか聞かれるので、Yes を選択します。メインメニューが表示され、ファームウェアのアップデートが完了しました。非常に簡単です。

ファミコンディスクを FDSKey にダンプしてみる

公式ページの README に書いてある、ディスクのダンプを試してみます。

マイクロ SD カードを PC に接続します。

以下より、ディスクのダンプ用のプログラム「duplifds.zip」をダウンロードして解凍します。

<https://github.com/ClusterM/duplifds/releases>

解凍後のファイル「duplifds.fds」をマイクロ SD カードのルートにコピーします。

マイクロ SD カードを PC から取り外し、FDSKey に挿入します

ファミコンの電源を入れると、懐かしのディスクシステムの起動画面が出ます。



FDSKey のディスプレイから「Browse disk images」を選択して、FDSKey の右ボタンを押します。

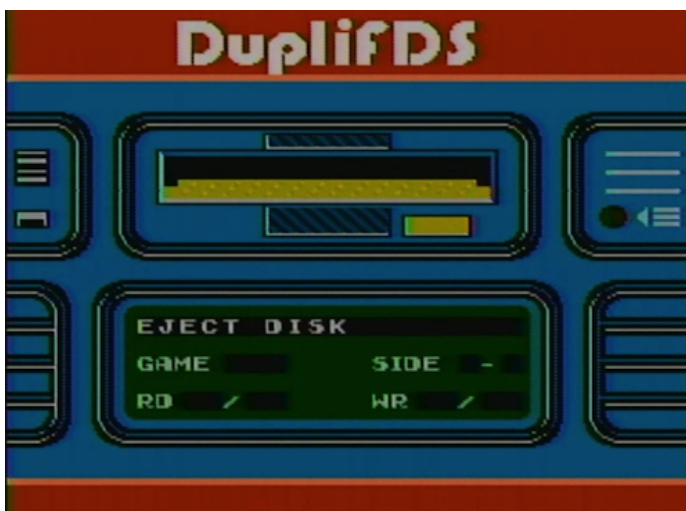
「Browse disk images」を選択して、FDSKey の右ボタンを押します。

「duplifds」を選択して、FDSKey の右ボタンを押します。

ディスク読み込み画面が出た後



duplifds のメニュー画面が出ます。



FDSKey の左ボタンを数回押して、メインメニューまで戻ります。
ディスクがイジェクトされます。

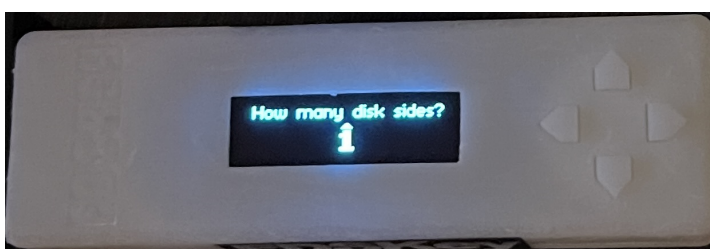
次に書き込み用のブランクディスクを作成します。
「Create a blank disk」を選択します。



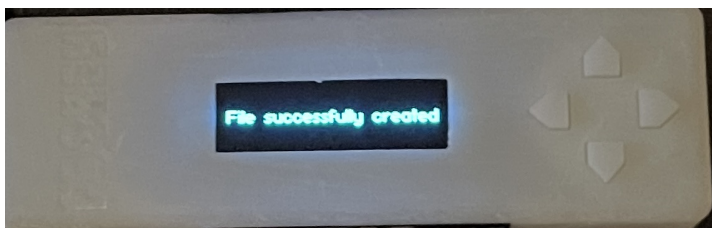
十字キーでファイル名を入力して、右ボタンで一番右まで進みます。



ディスクの構成（枚数）を選択します。A 面のみの場合は「1」、AB 両面の場合は「2」とします。



「File successfully created」が表示されたら、FDSKey を RAM アダプタから取り外します。

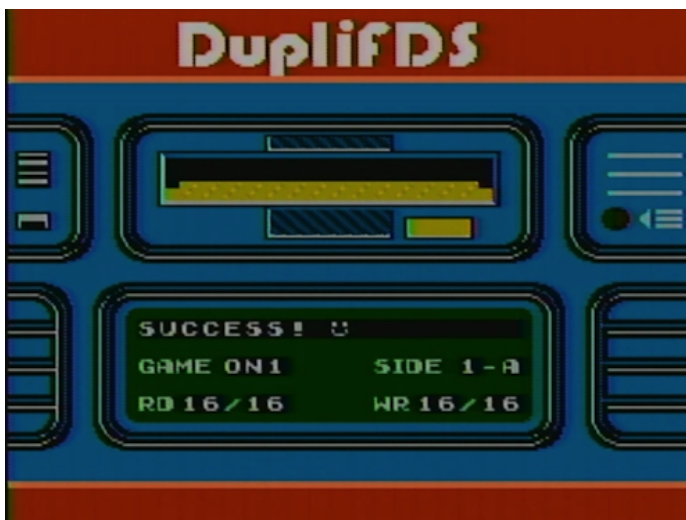


ここから、めんどくさいですが以下を繰り返します

- ・ RAM アダプタをディスクシステムに接続します。
- ・ ダンプしたいディスクをディスクシステムに挿入します。
- ・ ディスクが読み込まれ「EJECT DISK」が表示されたら、ディスクを取り出します
- ・ RAM アダプタをディスクシステムから FDSKey に接続しなおします。
- ・ 「Browse disk images」を選択します。
- ・ 作成したファイルを選択します。
- ・ 両面の場合は A/B 面を選択します。
- ・ ファイルの書き込みが進行します。
- ・ 「EJECT DISK」が表示されたら、FDSKey を RAM アダプタから取り外します。

ディスクの容量により、1～3 回繰り返す必要があります。

最後まで書き込むと CRC チェックが実行されて「SUCCESS!」が表示されたら片面が終了です。



片面のみの場合は終了して、両面の場合は再度 B 面で上記を繰り返します。

CRC がおかしいと教えてくれますので、その場合は再度はじめてから取り込みし直してみるか、ディスクが壊れている可能性があるので諦めます。

両面の場合は B 面にして繰り返します。

書き込んだイメージで動作確認してみる

本体：FC-RGB（ファミコンの互換機）

以下の種類のイメージで動作確認を行いました。

特に問題なくゲームできました。

基本的に以下の動作です。十字キーの上下で機能選択、右で次へ進み、左で前にもどります。

「メインメニュー」⇔「ファイル選択」⇔「A/B サイド選択（A/B サイドがある場合）」⇔「ディスク挿入中（ステータス表示）」

ディスクの種類	ゲームプレイ	ディスク入れ替え	セーブ
片面	OK	—	OK
両面	OK	OK 十字キー「左」でディスクを取り出し、 十字キー「上下」でディスク面を選択 十字キー「右」でディスクを挿入	OK

まとめ

■ 良い点

- ・ 公式対応のバックアップツール「duplifds」で PC を使用せずにディスクのバックアップが出来る。
- ・ バックアップしたファイルの CRC チェックをしてくれるためバックアップのミスがない。
- ・ OLED のメニューで様々な操作ができる。ディスク読み込み中や書き込み中のステータスも確認出来る
- ・ ファームウェアアップデートが簡単にできる。
- ・ オープンソースで更新も（2023 年 10 月現在）活発に行われている。

■ 良くない点

- ・ ディスクシステムと直接接続してバックアップが取れるようになるとうれしい。現在の手法は少し手間がかかる。
- ・ OLED の文字が小さくて見づらい。（オープンソースなのでハードウェアの変更で対応できそう）

全体として、これまであったディスクシステムのエミュレータより格段に使いやすくなっており、一つ持っておいたほうが良い商品だと思います。